

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	都市基盤整備部会
開催日時	平成28年 2月26日（金） 18時30分 ～20時00分
開催会場	名寄庁舎 4階 大会議室
出席委員	松前委員、三澤委員、中尾委員、大野委員、長内委員、工藤委員、白木委員、中館委員
事務局出席者	中村部長、天野次長、東課長 小野場長、内堀係長、野宮主幹 安藤課長、有門係長、大沼係長、中野課長、鷺見主幹、開発係長、原口係長、佐久間係長、藤井場長、菅原係長、柴田主任、金須課長、渡辺主幹、細谷主査、木村主査
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1次計画の検証 事務局より①企画課分の1次計画の主要施策について説明 ②第2回部会検証報告についての質疑・意見について説明及び回答</li> <li>● 第2次総合計画 主要施策の検討 ①建築課から説明 ②上下水道から説明</li> <li>● 今後のスケジュール 事務局より日程について説明</li> </ul>
発言内容	<p>（1）第1次総合計画～主要施策の検証について</p> <p>①企画課（総合交通体系、雪を活かし雪に強いまちづくりの推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委員 ～ホワイトマスターという取組を初めて知った。マスコミなどへのPRはしているのか。名寄市独自の取組なら積極的に発信すべき。他の自治体でも取組んでいるのでしょうか。</li> <li>● 事務局～名寄市独自の取組。当時のことは不明だが、現在はマスコミなどへの対外的なPRはしていない。</li> <li>■ 委員 ～ホワイトマスターの授賞者について利雪親雪推進市民委員会から市長に答申する際に地元マスコミの取材はある。</li> <li>● 事務局～利雪親雪の取組は「名寄の冬を楽しく暮らす条例」に基づき、マイナスイメージである冬の寒さや積雪の大変さを逆手にとり、雪や寒さを利用し楽しく暮らしていくことが狙い。条例制定当時は全国的にもユニークな条例として注目され、少なからず話題になっているはず。制定時から時間が経過し市民にとって当たり前の取組になっている面がある。この取組を改めて見直していくとともに、対外的な発信も行っていきたいと考える。</li> </ul>

- 委員 ～どんな方法で発信するのか。
- 事務局～具体的な案はないが、方法も含め今後の課題ととらえている。

(2) 第2次総合計画～主要施策の検討について

① 建築課

- 委員 ～住宅のミスマッチの解消のための具体的な施策はありますか？
- 事務局～現時点では施策はありませんが、行政だけでは民間住宅(賃貸)を活用できないため、空き家バンクなど登録制度などを2次計画の中で整理していきたい。

② 上下水道室(工務課、浄水場、下水処理場)

- 委員 ～上・下水道事業への国からの補助等はどのようなものか？
- 事務局～上水道事業は、あくまでも独立採算が基本の公営企業である。国の支援では
  - ①企業債(建設改良の長期ローン)活用②国の方針に応じて補助金対象事業等々が主なもので特段手厚いものでない。市民から見れば「同じ市の事業なのに」と思われるが、代表する公営企業として(例)札幌市地下鉄など～利用者の料金で賄うのが基本である。
 名寄市水道利用者は、7割が各家庭個人で3割が企業団体となる。いわば名寄庁舎も、市立病院もお客様となる。そこに市民全体の福祉向上のための市税を投入することは受け入れられないと考える。それらから公営企業の経営の厳しさがあると考え。
   
 下水道事業は、施設の維持管理については、交付税の算定の中で一定程度考慮されている。また、施設の整備については、長寿命化計画に基づき計画的な更新について、交付金事業として事業費の50～55%の交付金が交付されている状況です。

決定事項等 部会を開催する場合、開始時間を18:30～とする  
 曜日について、定はないので適宜事務局で調整する  
 次回 都市基盤整備専門部会は3月24日(水)付近で日程調整する。